

## 会議等の概要（議事録）

名 称	市民の皆さんとミーティング（地域巡回②）
開催日時	平成29年8月17日（木） 19:00～20:30
開催場所	向能代地域センター 大会議室
出席者	市民参加者…39人 市長、企画部長、次長、総合政策課参事・補佐、総務課秘書係長・主査、向能代地域センター所長、地域情報課長・広報広聴係長・主事、市民活力推進課主任
案 件	①市長市政報告 ②市民の皆さんとミーティング（意見交換）
概 要	<p>①市長市政報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次能代市総合計画1次素案</li> <li>・自主防災組織・防災士について</li> </ul> <p>②市民の皆さんとミーティング（意見交換）</p> <p>Qイオン能代店のつどいの広場「ぼけっと」は、年間7千人以上の利用がある。第1子で子育ての自信を持つと第2子、第3子とつながる。現在のつどいの広場は環境があまりよくない。窓がなく、床はコンクリートだ。より良い場所に移設することはできないか。</p> <p>A場所や駐車場の問題などあるが、少子化対策の解決策の一つとなるので、今後、検討していく。</p> <p>Q冒険遊び場作りをおこなっているが、市内の公園があまりにも綺麗で、自由に好きな遊びができない。遊びをとおして子ども達の生きる力を育みたいが、自由に遊びを想像して作り上げていくことは綺麗すぎる場所ではできない。旧向能代小学校の跡地はあまり手が入っていないので、常設の冒険遊び場として使わせてほしい。</p> <p>A子ども達が時には泥んこになって遊ぶのもよいと思う。旧向能代小学校の跡地は地元の皆さんの意向もあるので使えるかはわからないが、他の場所を含めて、子ども達が自然の中で遊べる環境を作るようにしていきたい。</p> <p>Q能代には古い歴史がある。三内丸山遺跡に匹敵する杉沢台遺跡が発見されているが、そのまま埋め戻されている。その遺跡の復元画を、東京の有名な画家に書いてもらっているが、展示場所のめどがついていない。市で受け入れてもらえないか。</p> <p>A能代は歴史のある土地であり、それが子ども達に伝わっていくことが大事だ。話を聞かせてもらって、市として何ができるか、何をしたらよいか検討したい。</p>

Q子ども食堂を毎月1回開催して9回目となった。子どもの貧困問題だけでなく、子どもからお年寄りまでの居場所づくりとしてやってきた。今後も続けていきたいのでお願いがある。一つは、運営費の支援として公民館の使用料を免除してほしい。もう一つは、向能代公民館がだいぶ古くなっているが、立地条件が良いのでこのまま残してほしい。

A子ども達や地域の皆さんの集いの場を作るのはとても大事なことで、ご努力いただきありがたい。公民館の使用料を免除するのがよいか、子ども食堂の運営費に支援するのがよいか様々な面から検討させてもらう。公民館はぜひとも存続させたい。地域の皆さんに大事に使ってもらいながら、修繕等で使い勝手を向上させて少しでも長く使っていきたいと考えている。

Q海が身近にあるのに、海水浴場が休止されている。整備し再開できないか。再開すると県北の内陸部から人がくるようになり、能代がにぎやかになる。

A落合浜の海水浴場は、砂で道路等が埋まってしまう。砂の撤去に経費が掛かるなどのため休止を決めた。再開は、経費負担や建物の立替等の問題を解決しないと難しい。ただ、海のそばにいて海で遊べないのはよくない。海に親しめる場を作ることについては場所も含め検討していく。

Q日本遺産の北前船寄港地になぜ初めから手を挙げなかったのか。ぜひ、登録に向けて努力してもらいたい。

A認定には街並みが残っている必要がある。文化庁が定めている認定条件が3つあるが能代はどれも該当しない。そういうこともあり当初は声がかからなかった。しかし北前船で栄えた歴史はあるので、その歴史で認定されるよう関係者と協議している。能代市で北前船フォーラムを開催することも検討している。

Q能代市植樹祭に一般市民の公募もおこない、市民総出で植樹ができるようにしてほしい。火力3号機で地球温暖化の問題もあり、市民も市の事業に参加している気持ちも高まるのではないか。

A植樹する本数も決まっているため各種団体や地域の小学生などでおこなっている。市民の皆さんにも多数参加してもらい環境や木都能代に対する意識を高めていくことも大切なため、様々な角度から検討させてもらう。

Q公民館の改築の件だが、自治会連合会の役員会で決議し市長に陳情した。S49年の建築で43年が経過している。大規模改修もされておらず雨漏りや耐震の面からも早めに改築をお願いしたい。

A陳情いただきありがたい。公共建築物の管理計画があり、その中で整理検討しているところだ。

Q能代歩こう会に所属している。4月から9月まで水曜日の朝、早起き歩こう運動をおこなっている。48年間続けている行事だ。普段は市街地を歩いているが、1年に一回は、檜山やきみまち阪を歩きたいと考えている。それに市のバスを使用させてもらえないか。

A健康づくりを一生懸命やもらっているのはありがたい。担当課に話を聞いて回答させてもらう。→関係課と相談してもらうこととした。

Qこれからの能代市は不安である。働く人が少なく高齢者が多い。また、核家族が多く高齢者のみの世帯も多い。親と子が離れて生活していて子どもが近くにいない。なぜなら能代に仕事がなく大学を出たらそのまま東京で就職してしまうからだ。

A高校を卒業したら東京に行ってそのまま帰ってこない。理由の一つに働く場所がないといわれているが、能代の有効求人倍率はおそらく全県で一番高く、能代工業団地では人が集まらなると聞いている。働く場所がないのではなく、希望する働く場所がないということだ。働きたいと思う職場を増やしたり、能代にある職場を知ってもらったりしながら、人口の減少を少なくしていきたい。

Q市内の幼稚園・保育園は保育士不足で園児を受け入れできない状態だ。秋以降には待機児童が出るといわれている。様々な事情で働いていない保育士はたくさんいると思う。身近にそういう人がいたら紹介してほしい。

A保育士が不足しているのは承知している。現場の皆さんや幼稚園を経営している方と相談しながら、行政でできることを検討していきたい。

Q歴史的に、人口は増える時期と減る時期を繰り返しており、そのたびに、文明や文化が生まれ変わっている。行政としてあまり楽観的なことはいえないと思うが、その辺を理解しながら、いろいろな政策や施策をおこなってほしい。

Aご意見、ありがとうございます。